

自転車の安全と利用促進

施策のポイント

盛岡市では、地形的な平坦性や市街地のコンパクト性から自転車利用が比較的多いこともあり、NPOをはじめ市民レベルでの自転車に関する取り組みが活発に行なわれている。

市は、増加する自転車事故の交通安全や渋滞解消を図るため、自転車を交通施策に位置付け、交通の有効な手段として利用促進を図ることとしている。

自治体情報

岩手県盛岡市

人口 / 291,709人

標準財政規模 / 62,942,835千円

担当課 建設部交通政策課

電話番号 直通019-626-7519 代表019-651-4111 内線2766

実施主体 盛岡市

関連ホームページ <http://www.city.morioka.iwate.jp>

事業期間 平成20年度から

参考とした施策

関係施策分類 ②

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

本市は、平成19年7月に「マイカーの抑制と歩行者・自転車・公共交通優先」を前面に打ち出した盛岡市総合交通計画を、平成19年11月には盛岡市自転車の安全と利用促進に関する計画を策定し、市、市民、企業等が一体となって自転車の安全利用や利用促進に取り組むよう条例化（自転車条例、H20年4月施行）を行なった。

2 取り組みの具体的内容

自転車条例に基づき、自転車走行環境の整備（ブルーゾーン）、自転車駐車環境の整備、通勤レンタサイクル実施、利用促進PR等の安全及び利用促進施策を実施している。

特徴としては、交通安全上から自転車の道路左側走行を盛岡マナーとして奨励し（自転車走行可の歩道でも左側の歩道通行）PRに努めている。

また、自転車走行空間整備計画においても走行空間を原則自転車レーン方式で車道に設置することとし、逆走（右側走行）を抑止する工夫をしている。

3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

本市では交通施策の一つとして自転車施策に取り組んでおり、10年後の交通施策目標を下記のとおり定めている。

- ・ 中心市街地を快適に移動できると感じる人の割合を6割以上にする
- ・ 中心市街地への通勤における自家用車利用者数を3割削減する
- ・ 上記目標の達成により1日あたりのCO₂排出量を約7t削減する

4 現在までの実績・成果

H20年度：ブルーゾーン整備（L=854m）、自転車駐車場整備（78台）、通勤レンタサイクル社会実験、自転車条例ポスター等によるPR、自転車マップ作成、自転車通勤で脱・防メタボPR

H21年度：モデル地区ブルーゾーン整備（L=1168m）、PR、通勤レンタサイクル本格実施、自転車走行空間整備計画策定

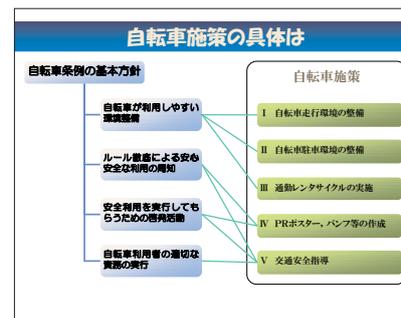
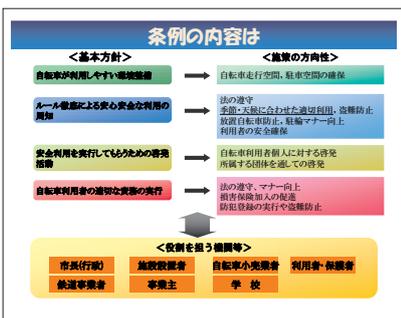
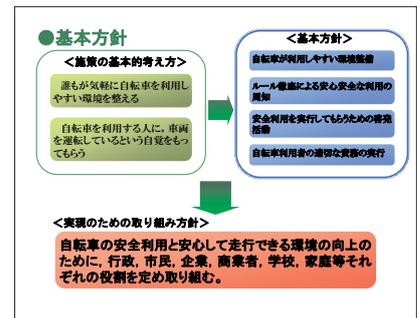
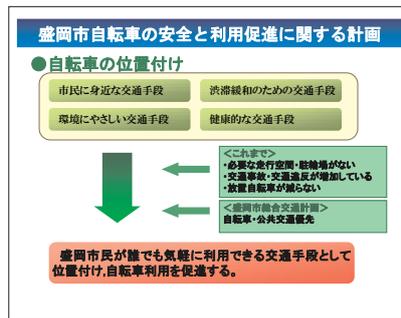
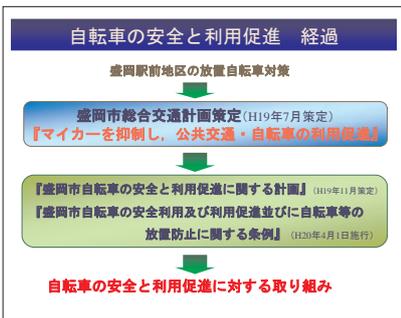
5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

施策実施にあたっては、地元関係者、市民団体、道路管理者、公安委員会等との連携が不可欠である。自転車走行空間整備計画策定においても、市民団体への委託や関係者による検討会を設置するなど協議、連携しながら業務を進めている。

6 今後の展開と課題

今後、引き続きブルーゾーン・自転車駐車環境の整備や安全利用と利用促進のPR活動を進める。また、交通安全上課題の多い交差点等における走行空間の整備手法について、平成22年度に検討を行なう予定としている。

課題としては、自転車駐車場が必要な都心部に土地の確保が難しいことやブルーゾーンでの逆走など依然多い自転車のルール、マナー違反への対応、周知の工夫が挙げられる。



予算関連データ

総数 ①～⑤の計	財源内訳 (財源区分: ①～⑤)				
	①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
H21: 1,500千円	750千円	0千円	0千円	0千円	750千円
①～④の名称、 所管など	名称	都市・地域交通戦略推進事業費補助			
	所管	国土交通省			
	金額	750千円			
	補助率	50%			

提供可能資料：盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例他